

**2026(令和8)年度**  
**総合型選抜試験(興動館選考型)**  
**小論文問題**  
**(時間 60 分)**

下の新聞社説を読み、「インバウンド(訪日外国人)の増勢」について、あなたの意見を述べなさい。ただし、次の1～3の内容を含んだ構成とし、300字以上600字以内で書きなさい。

1. インバウンド(訪日外国人)の量的な拡大はどのような状況にあるか。
2. インバウンド(訪日外国人)の急増にともなう課題としてどのような点があげられるか。
3. インバウンド(訪日外国人)の急増にともなう課題に対して、政府・自治体や企業が行うべきことは何か。

なお、誤字・脱字、常用漢字不使用は減点の対象となるので注意しなさい。また、指定された文字数に満たない場合は、評価対象外になります。

## 訪日6千万人への備えを急げ(社説)

インバウンド(訪日外国人)の増勢が続いている。20日に日本政府観光局(JNTO)が発表した7月の訪日客の推計値は343万人となり、10か月連続で300万人を超えた。地域経済へのプラスは大きい。オーバーツーリズム(観光公害)問題などに適切に対処し、観光産業を着実に育てたい。

2025年上半期(1～6月)の訪日客は前年比21%増の2151万人だった。日本旅行業協会(JATA)は、今年の訪日客は史上初めて4000万人を上回り、早ければ28年には6000万人台に達するとの予測をまとめた。

新型コロナ禍前の政府目標は20年に4000万人、30年に6000万人だった。急な回復は国際旅行収支の黒字を支える一方、ひずみも生んでいる。スムーズな受け入れ体制の整備を急ぎたい。

第1は大都市や人気観光地への集中の緩和だ。企業や自治体は地方での宿泊施設の不足の解消に取り組みたい。バスやタクシーなど公共交通網の不足にはライドシェア\*の解禁が有力な手段になる。

百貨店の免税品販売が減るなど旅行者の消費は変化している。単なる節約志向ではなく、日本ならではの過ごし方を求めているのではないか。地域の文化や伝統、自然環境など体験

型消費の充実に力を入れるべきだ。

マナーの問題を指摘する声も目立つ。シンガポールや米ハワイ州などでは、国籍を問わず路上や海岸など公共空間の行動に厳しいルールを定め、観光客も生活者も快適な環境づくりに生かしている。

一部で強まる排外主義的な主張に歯止めをかけるためにも参考にしたい。ルールづくりの過程で、自分たちの都市や町の未来像について議論が深まろう。暗黙のルールを明文化することは外国人の住民との共生にも役立つ。

国土交通省は現在、26年度から30年度まで5年間の観光立国推進基本計画を策定中だ。人数や消費額の目標に加え、消費の内実や外国人との共生策の中での位置づけなど幅広い議論を望みたい。

(2025/08/21 日本経済新聞 朝刊 2 ページ)

\*ライドシェア…一般ドライバーが自家用車を使って有償で乗客を運ぶサービス。